

# 第3回 南阿蘇村子ども議会開催



12月19日、村の未来を担う子どもたちに行政への興味・関心を持ってもらい、これからの村づくりへの意識を高めてもらう機会とするため、また、子どもたちならではの発想力を村政に活かすため、役場議場にて「第3回南阿蘇村子ども議会」が開催されました。

当日は、南阿蘇中学校の3年生85人のうち代表として10人の生徒が「子ども議員」として発言。学校で話し合った子どもたちの目線で「日頃生活するうえで疑問に思っていること」や「村をより良くするための提案」について、村長をはじめとする村の幹部職員に対し、自分たちの言葉でしっかりと想いを伝えました。当日、代表して質問してくれた「子ども議員」とその内容・回答を一部抜粋して紹介します。

## 1班「南阿蘇公共交通ネットワーク 促進プロジェクト」

### 提案理由

第2次南阿蘇村総合計画後期基本計画によると、村内の公共交通の利便性について、否定的な回答をした割合が高く、特に輸送人員の大幅な減少や、移動制約者の増加に伴う課題が浮き彫りとなっている。南阿蘇鉄道も運転再開したので、より良い公共交通ネットワークの在り方を考えることは、地元民の定住促進と、村外への南阿蘇の魅力発信の起爆剤になると考える。

### 提案

- ①乗り合いタクシーの規模拡大をおこなってはどうか。
- ②バスや電車の本数と料金（支払い方法）の見直しをおこなってはどうか。
- ③電動キックボード、自転車を各駅に設置してはどうか。



1班代表  
清田百菜議員

### 村長回答

- ①利便性を追求し事業を拡大すると、他の公共交通機関の利用者が減ることが考えられるため、それぞれの公共交通機関が存続できるようにバランスをとりながら一番良い方法を考えていく。
- ②バスや電車の本数は、利用者の動向を見ながら持続可能な公共交通網の構築に努めていく。また、料金の支払い方法についても利便性が良くなるように検討していく。
- ③村での滞在時間の延長および満足度の向上のために、二次交通の一つの手段として引き続き検討していく。

## 2班「南阿蘇人口増加プロジェクト」

### 提案理由

「第2期南阿蘇村総合戦略」の人口ビジョンによれば、2045年に南阿蘇村の人口は8,222人になると推計されている。特に生産年齢人口と年少人口の減少は、南阿蘇村の将来を考える上で、人口の維持もしくは増加が喫緊の課題だと考える。また、南阿蘇村の基幹産業である農業は、安心して安全な食材を南阿蘇村内外に供給し、また豊かな水資源は農業のみならず、観光資源としても注目されている。近年では、熊本市郊外の工場新設などもあり、水資源の確保について注目されていることから、南阿蘇村の人口の減少は現在維持している食や水資源の確保にも関わる課題であると考えます。

### 提案

- ①子育て世代に向けて補助金を交付してはどうか。
- ②Uターン希望者や南阿蘇村周辺に工場などを新設予定の企業に向けて、住居や社員住宅建設などの誘致をおこなってはどうか。



2班代表  
野添拡充議員

### 村長回答

- ①本村の子どもに対する支援施策は保護者の経済的負担を軽減するため手厚い支援を講じており、今後も関係機関と連携を図りながら、引き続き支援に努めていく。
- ②現在、村では子育て世代向け賃貸住宅建設に対する補助をおこなっている。また、昨年度解体した立野団地は賃貸住宅用地としての売却に向けた手続きを進めている。

## 3班「南阿蘇自然・環境進化計画」

### 提案理由

第2次南阿蘇村総合計画後期基本計画の中学生アンケートにある「今後どのような特色のある村にすべきか」では自然にやさしい村が74.7%で1位だった。一方、同計画施策6の「阿蘇の景観保全と活用」では、課題として裾野に広がるスギ・ヒノキ林や世界遺産登録を目指すための景観配慮が課題として挙げられていた。そこで、南阿蘇村の美しい景観と自然を守るためにできることは何かを考えた。

### 提案

- ①スギやヒノキを使って観光者向けの施設をつくってはどうか。
- ②街灯やベンチも木でつくってはどうか。
- ③木のおもちゃやモルック、リースなどの飾り物をつくり保育園に提供してはどうか。



3班代表  
増田絢音議員

### 村長回答

- ①スギやヒノキなどの木材利用を推進することは、本村の豊かな景観と調和したデザインを実現するだけでなく、快適な空間づくりと脱炭素社会の実現やSDGsの目標達成にもつながるものと考えており、今後も積極的に取り組んでいきたい。
- ②令和6年度から「森林環境税」の課税が始まる。この税を利用し、木製ベンチなど木材の活用を通じ環境整備について推進してまいりたいと考えている。その上で、ベンチの設置場所、制作方法など詳細についても検討していく。
- ③森林環境税を活用し、具体的な提供内容などについては、保育園などの関係者と協議しながら検討していく。

## 子ども議会を体験した感想

1班代表  
山中 千織議長



議長席に座ると一言目を発せないうらい緊張しました。今回の子ども議会をきっかけに、政治や地域の活動に関心を持ち、積極的に活動に参加していきたいと思いました。

2班代表  
豊村 信龍議員



今回の子ども議会で提案をしましたが、すごく緊張しました。本当の議会では自分の発言で村の方向性などが決まってしまうので、そんな重圧がありながらも村のために働く姿はかっこいいと思いました。

3班代表  
他力 友貴奈議員



村のことに、より深く考えることができ、貴重な時間でした。南阿蘇といえば自然なので、今回の体験を通して自然の維持についての現状などを知ることができてよかったです。